

## 研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-139	A-540	22-054	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名 (原題/訳)</b>			
Analysis of alcohol use, consumption of micronutrient and macronutrients, and liver health in the 2017-2018 National Health and Nutrition Examination Survey 2017～2018年の米国国民健康・栄養調査におけるアルコール摂取、微量栄養素と主要栄養素の摂取、肝臓の健康状態の分析			
<b>執筆者</b>			
Warner JB, Zirnheld KH, Hu H, Floyd A, Kong M, McClain CJ, Kirpich IA.			
<b>掲載誌</b>			
Alcohol Clin Exp Res. 2022 Nov;46(11):2025-2040. doi: 10.1111/acer.14944.			
<b>キーワード</b>			<b>PMID</b>
国民健康・栄養調査、アルコール摂取、栄養摂取、肝機能			36124871
<b>要 旨</b>			
<p><b>目的：</b> 2017～2018年の米国国民健康・栄養調査 (NHANES) のデータから、食事性微量栄養素、主要栄養素の摂取と肝臓の健康状態との関係を明らかにすることを目的とする。</p> <p><b>方法：</b> 2017～2018年の NHANES のデータを使用した。18歳以上の参加者に実施したアルコール使用質問票 (ALQ) の回答があり、肝臓エラストグラフィ検査欠損者、B型肝炎およびC型肝炎の感染者を除外した4425名を対象とした。自己申告のアルコール摂取量を非飲酒者、禁酒者 (過去1年間断酒者)、中等度飲酒者 (男性2杯/日未満、女性1杯/日未満)、大量飲酒者 (男性2杯/日以上、女性1杯/日以上、頻繁な多量飲酒あり) に分類し、24時間の食事内容を思い出す2回の面接によって食事摂取が把握された。肝臓の健康状態は、ALT、AST、GGT、肝臓エラストグラフィ検査 (CAP、LSM) で評価した。多重線形回帰モデル (性別、年齢、人種、学歴、BMI で調整) を用いて、アルコール摂取量、食事、肝臓の健康状態との関連を調べた。</p> <p><b>結果：</b> 大量飲酒者は、著しく若く (男性 <math>40.8 \pm 1.3</math> 歳、女性 <math>41.5 \pm 1.8</math> 歳 : <math>p &lt; 0.01</math>)、糖尿病 (非飲酒者 16.9%、禁酒者 21.4%、大量飲酒者 6.9% : <math>p &lt; 0.01</math>) やその他の併存疾患の発生率が低く、高学歴の男性が多くを占めていた。大量飲酒者は、全体的なカロリーと様々な微量栄養素を最も多く摂取していた。中等度飲酒者も大量飲酒者も肝脂肪変性や繊維化は見られなかったが、ALT、AST、GGT などのバイオマーカーは、中等度飲酒者と比較して大量飲酒者で上昇し、GGT で有意な上昇が認められた。</p> <p><b>結論：</b> 大量飲酒者は、高エネルギー摂取で、肝脂肪や線維症がなく、糖尿病など併存疾患が少ない集団であった。バイオマーカーが上昇したことは、時間経過による肝疾患進行のリスクを示している可能性がある。飲酒カテゴリーの誤分類や、脂肪肝の標準化されたカットオフスコアの欠如などを考慮し、結果を解釈する必要がある。</p>			